

第3回 ワークショップテーマ

『各施設の「連携」を考える』
～「これから」新しい施設の連携の可能性～

一般の部

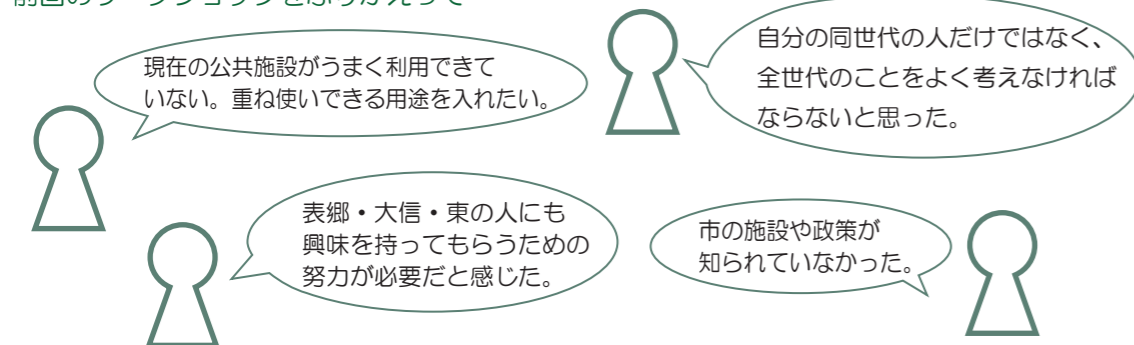
概要

日時：2021年10月17日（日）10:00～12:00
場所：マイタウン白河 地下大会議室
参加者：5名

市民会館跡地に整備する複合施設について、市民の意見やアイデアを基本設計にいかすため、前回に続き第3回複合施設市民ワークショップを開催しました。今回のワークショップでは、前回の意見確認、複合施設に必要な機能について、また関連施設との連携と共用の可能性について意見を出し合いました。



前回のワークショップをふりかえって



一般の部 まとめ

1階はカフェなどの官民連携機能や市民交流機能を配置してほしい、健康増進機能、防災対策機能は3階でもいいなど、各機能の階配置に関する意見がありました。

外部のテラス席や屋上緑化、ピオトープが欲しい、マルシェができるような半屋外空間があるとよいなどの意見がありました。

LIVEカメラを設置し、駐車場や施設内の混雑状況・利用状況をオンラインで確認できるようにしたいといった意見や、Webで予約した本を市内の公共施設のどこでも貸出・返却できるシステムが欲しいといった意見など、Webを活用した施設の利用方法や各施設の具体的な連携方法についての意見がありました。



一般の部 内容

市民支援機能

夜（時間外）の窓口や受付がほしい

官民連携機能

他人の視線が気にならないカフェ

低料金でできる学習支援や習い事を市で行ってほしい

1日の家事・育児がそこで完結するようなお店や施設をつくってほしい

チャレンジショップではなくレンタルルームできちんとしたお店を入れてほしい

生きがいづくり機能

学習スペースはつい立てのようなもので区切り、個々のスペースにしてほしい

防災対策機能

屋上にヘリポートがあると安心

防災センターは3Fに設置してほしい

交流機能

月1でマルシェができる場所があるとよい

一人でゆったりとリラクースできる空間もほしい

可動間仕切り等で仕切れる自由な空間がほしい

内と外が繋がっているような開放的な空間

子育て支援機能

どうしても子どもを連れて行かなければならない時に、一時預かりやキッズスペースがほしい

土日祝日も子ども預かりをやってほしい

その他（共用部など）

駐車場はイベントや日時によって自由に駐車できるようにしてほしい

駐車場は無料で、十分な数を用意してほしい

車のない人も多く、市内に出るのもバスに乗るのも大変

施設の混雑状況や利用状況をわかせるLIVEカメラの設置

駐車場の空き状況が分かるようなシステム（天井設置型センサー、招き灯）

施設利用する際に使いやすく分かりやすい予約システムがほしい

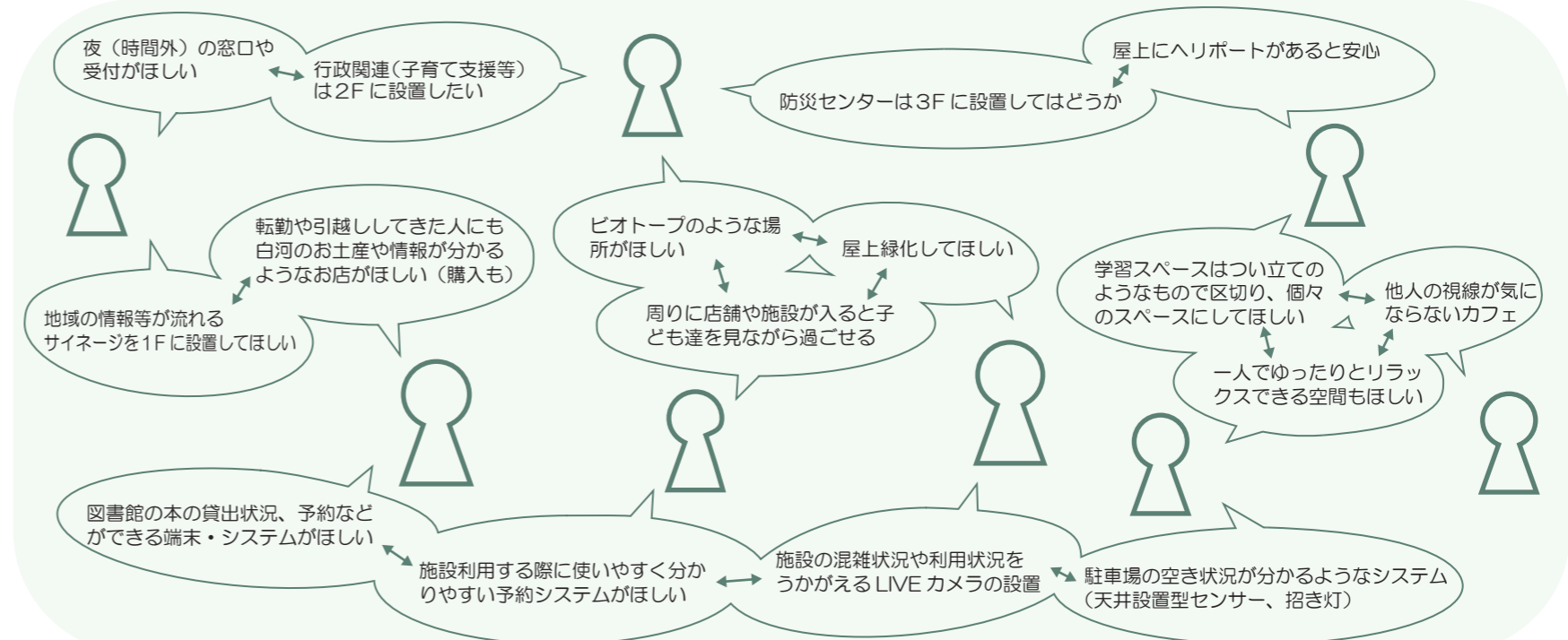
図書館の本の貸出状況、予約などができる端末・システムがほしい

健康増進機能

健康増進機能はELVがあれば3Fに設置しても問題ない

気軽に健康相談ができるような総合診療の先生を置いてほしい

要望ごとの相互関係



第3回 高校生の部 ワークショップテーマ

『施設の「使い方」を考える』

高校生の部

～白河の公共施設の未来を考えよう～

概要

日時:2021年10月10日(日)
13:30～17:00
場所:コミュニティ・カフェ EMANON
参加者:7名



第3回の高中生ワークショップでは、市外の社会教育施設の関係者によるレクチャーとトークセッション、新施設の『各機能同士の複合化』に着目した具体的な空間や機能面の提案を行いました。

高校生の部 内容

前回課題:「自分が使いたい!憧れの公共サービス・施設」

はじめに、事前に調べてきた「自分が使いたい」と感じる公共サービスをグループごとにシェアしました。

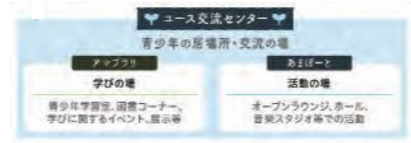


市外社会教育施設関係者 事例紹介&トークセッション

オンラインにより、他の地域での『若者と公共施設』の事例について話を伺い、意見を交換しました。

【事例紹介①:兵庫県尼崎市「尼崎市ユース交流センター」】

非公式の教育を通して、自分・社会を学ぼうという施設。「やりたいこと」を聞き、大人が支援してくれる場所。



【事例紹介②:岩手県盛岡市「盛岡という星で base station」】

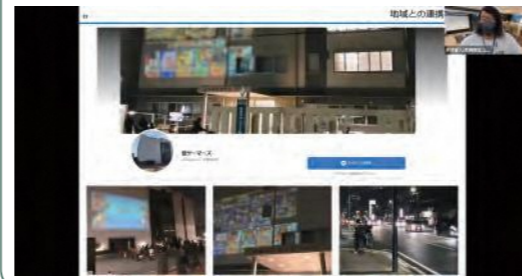
盛岡から上京した人たちに、盛岡と関係性を作ってもらうために始まったプロジェクト。盛岡-東京間の交流拠点として開設された。



【高校生からの質問と感想】

高校生

尼崎の、公共施設の壁でやるゲーム大会に感動しました! 若者の声をどうやってとりいれましたか?



「自分にも何かできるかもしれない」と思ってもらえるような意見しやすい環境でワークショップやイベント、ミーティングをやっています。

尼崎ユースセンター

高校生

街の壁でみんなでゲームをやった事例を見て、驚きました。「やりたいことをやっていいんだ」と感じました。

高校生

若者の意見を実現してもらえる環境がとてもよいと思った。意見もしやすくなるし、なにより意見するのが楽しくなると思う。

高校生

尼崎市と盛岡市、目的やターゲットが異なる点が気付きでした。尼崎市では、子供の保護や支援が目的で、盛岡市では地元から離れてしまった人がターゲットとなっていた点が、面白かったです。

グループワーク:白河の高校生が「つながる」動詞を考えて、機能にする

後半からは、前半の話を参考にしながら、白河の高校生が複合施設を使うにあたって想像できる「動詞」と、それを複合施設の機能である①健康増進 ②子育て支援 ③防災対策 ④生きがいづくり と掛け合わせることでどんな“機能の化学反応”が起こるかを3つのグループに分かれてアイデア出しを行いました。

